

業を推進しており、在宅高齢者などに対する支援体制を強化し効果的な地域福祉事業を推進していくため、引き続き財政支援並びに人的支援を行ってまいります。

保険事業の充実

国民健康保険事業につきましては、生活習慣病予防対策として特定健康診査、特定保健指導の実施により、糖尿病や高血圧といった生活習慣病の予防と改善に取り組み、医療費の適正化に努めてまいります。

介護保険事業につきまして、第4期介護保険事業計画が本年度で終了することから、今後3年間の介護給付費の推移を見極めながら事業計画の策定を進めてまいります。

地域包括支援センターの充実

また、地域包括支援センターの体制づくりを進めるために、国のモデル事業として機能強化や地域課題を解決する仕組みづくりの構築を進めてまいります。

高齢者事業団への支援

高齢者事業団は、高齢者の能力や経験を活かし、仕事を通じて生きがいの充実や社会参加、健康づくりを図るという運営方針に沿った事業の継続のために、必要な経費を助成するとともに適正な運営について指導してまいります。

医療体制の充実

医療体制につきましては、町内4診療所の医師が地域事情に根ざした診療を維持形成され、献身的なご協力をいただいているところであります。本年度においても引き続き支援してまいります。

また、平成22年度繰越事業として、幾寅診療所と金山診療所の外壁等の塗装工事を実施してまいります。休日、夜間の一次救急及び専門的な高度医療につきましては、富良野協会病院との病診連携を進めるとともに、周産期医療や婦人科医療を継続して確保していくための事業負担金として、所要の予算を計上いたしました。

いきいきの南富良野 学び楽しむ文化のまちづくり

次に、次代を築く子ども達の学力向上や生きる力を育む教育の実践とあらゆる世代の人が、それぞれのライフスタイルにあわせて楽しく学び楽しむ文化の町をめざす、いきいきの南富良野―学び楽しむ文化のまちづくりであります。

教育環境の充実

今日、少子高齢化や経済情勢、社会情勢の急激な変化の中、教育を取り巻く環境も、国における教育基本法等の改正に続き、新しい学習指導要領が、平成23年度から小学校で、平成24年度から中学校で施行されるなど、教育改革の動きの中で大きな転換期を迎えております。こうした中であって、未来を担う人材を育て、より質の高い教育と一層の振興に向けた教育環境や、高齢者が生きがいのある充実した生活を送る学習環境づくりが、益々重要であることから、教育委員会の方針を尊重

し、第4次総合計画の基本方針に沿った教育環境の充実に努めてまいります。

南富良野高校

南富良野高等学校への入学者は、近年定員を大きく割り込んでおりましたが、本年度は30人の入学志願者となったところであります。しかし、平成23年度以降の中学校卒業生徒数は、減少し推移していくことから、引き続き厳しい



南富良野高等学校見学・説明会

状況には変わりありません。本町の最高学府であります南富良野高等学校が、生徒の多様な個性と進路動向を踏まえ、地域性や時代の要請に応えるため、特色と魅力を活かせる高校教育に向けた、様々な取り組みに対する所要の予算を計上いたしました。

学習環境の充実

学校・社会教育施設の整備では、平成22年度の繰越事業といたしまして、昨年改築されました南富良野中学校の外構工事、下金山小学校教員住宅水洗化工事、金山地区コミュニティセンター外壁及び防水改修工事を実施してまいります。また、下金山地区多目的センター大ホールは手狭なため、行事等の際支障となっており、ことから、拡張すべく改修工事にかかる所要の予算を計上いたしました。

本部町との親善交流事業

沖縄県本部町との子ども達の交流は、平成23年度で21回目となりますが、両町の絆を

さらに深めるための町内児童による親善交流に必要な予算を計上いたしました。

千里大学

千里大学については、高齢化社会の中で、豊かで充実した生涯生活を過ごしていただくための一助として、所要の予算を計上いたしました。

うるおいの南富良野 快適な生活環境のまちづくり

次に、豊かな自然と調和する快適な生活環境の整備と生活安全の強化をめざす、うるおいの南富良野―快適な生活環境のまちづくりであります。

地域基盤の整備

町民の日常生活や地域経済社会活動を支える重要な社会資本であります道路については、計画的な整備と適正な維持管理に努めてまいります。町道の整備については、幾寅鹿越線道路の舗装の一部オーバーレイ工事、幾寅しら

かば団地線道路の舗装工事の予算を計上いたしました。

現在町道には橋梁が54橋あり、そのうち昭和30年代から40年代に架設された橋梁が相当数あることから、老朽化に伴い修繕や架け替えを計画的に行う必要があります。

橋梁の点検の強化及び早期の管理修繕により更新コストの削減を目指す観点から、橋梁の長寿命化に向けた計画を策定するため、橋梁の点検を行う所要の予算を計上いたしました。

また、平成22年度の繰越事業により、金山・下金山地区の除雪ステーションとなる町道維持車両庫の建設工事を実施してまいります。

道々の整備は、石勝高原線のJR幾寅踏切付近の用地買収と昨年度より実施しております金山幾寅停車場線の鹿越大橋付近の法面落石対策工事、金山ダムサイト付近の富士川橋の延命化補修工事が予定されております。

国道の整備については、38号線では、三の山峠登坂車線設置工事が幾寅側全線延長1.8kmで予定されており、2

町営バス

町営バスについては、住民の足としてスクールバスとの一体運行により行っておりませんが、現在の利用者の実態を踏まえまして、今後利用者の利便性を考慮した効率の良い運行が出来ないか、検討してまいります。

住宅環境の整備と定住促進

公営住宅の長寿命化を図るため、計画的に修繕を進めておりますが、本年度は落合西団地8棟16戸の屋根及び外壁塗装工事の所要の予算を計上いたしました。

マイホーム建設促進事業については、町内に住宅の建設を促進するとともに町外からの移住を推進し、定住者の拡大と地域振興を図ることを目的として、住宅を新築などした場合に経費の一部を助成する制度を平成20年7月にス

ターゲットし、12名の方が利用されており、本年度も現在1件の新築予定がありますので、所要の予算を計上いたしました。

町内に点在する空き家などを有効活用し、都市住民との交流の拡大と定住による地域の活性化を図るため、空き家情報登録制度を創設しましたので、本制度を積極的に活用していただくよう情報の提供を行ってまいります。

旧役場单身寮は、現在ポテトチップス製造工場に従業員を派遣しております派遣会社が、従業員宿舎として使用しておりますが、老朽化が著しく日常生活に支障をきたしている現状にあり、本町の定住促進並びに今後も引き続き施設の有効活用を図るため、外壁等の改修を行う所要の予算を計上いたしました。

簡易水道事業

簡易水道事業については、日々の生活に欠くことのできない飲料水を常に安定的に供給するため、施設の維持管理にあたり万全を期し、合理的

かつ効率的な運営にも配慮しながら、生活用水の確保に努めているところであります。水道の整備では、安定した水量の供給を図るため、北落合地区簡易水道施設の老朽化した配水管延長750mの更新、さらに計画的に行っております各地区メーター器取替え工事にかかる所要の予算を計上いたしました。

公共下水道事業

公共下水道事業については、整備が概ね完了しましたので、今後は、下水処理場をはじめ、各施設の適正な維持管理により、処理能力を保持するため、予算を計上いたしました。

環境衛生

環境衛生では、ごみ処理についてはより一層の減量化やリサイクルの推進が求められていることから、町民皆さまの理解と協力を得ながら、分別の徹底及び減量化に努めてまいります。

一般ごみ処理費の有料化につきましても、その状況の推